

8.20 土砂災害伝承パネル展の開催

～土砂災害 啓発・伝承プロジェクト～

－平成 26 年 8 月 20 日の土砂災害から 3 年－

本県では、平成 26 年 8 月の土砂災害をはじめ、多くの自然災害が発生しており、再び同じ被害を繰り返さないためには、災害に関する防災意識の醸成を図るとともに、災害の記憶を後世に伝承する必要があります。

そのため、平成 26 年 8 月 20 日土砂災害から 3 年を迎えるにあたり、「土砂災害啓発・伝承プロジェクト」の一環として、地域の方から県ホームページ「地域の砂防情報アーカイブ」に提供して頂いた写真等を活用し、下記のとおり「8.20 土砂災害伝承パネル展」を実施します。

■実施内容

開催期間：平成 29 年 8 月 1 日（火）から 9 月 1 日（金）まで

開催場所：下表のとおり（裏面位置図）

（但し、閉館日・閉庁日は除く）

開催場所		期 間	時 間	備 考
安佐北区	安佐北区総合福祉センター (可部公民館)	8月1日～9月1日	8:30～22:00	可部地域町内会・自主防災会連携 ※8/1 10時～12時 地域の方の取材可
	安佐北区役所	8月10日～8月21日	8:30～17:15	
	安佐北区民文化センター	8月9日～8月22日	9:00～21:00	
	亀山公民館	8月2日～8月24日	8:30～22:00	可部地域町内会・自主防災会連携
	三入公民館	8月2日～9月1日	8:30～22:00	可部地域町内会・自主防災会連携
安佐南区	安佐南区役所	8月1日～8月8日	8:30～17:15	
	安佐南区民文化センター	8月10日～8月20日	9:00～21:00	
	祇園公民館	8月23日～8月31日	8:30～22:00	

取組主体：可部地区自主防災会連合会，可部地域町内会自治会連絡協議会
可部公民館，亀山公民館，三入公民館，祇園公民館
国土交通省太田川河川事務所，広島県，広島市 ほか

内 容：①8.20 土砂災害を教訓とした各地域の取組を紹介
（地域防災マップの展示，防災訓練の実施状況，自主防災会の取組など）
②8.20 土砂災害復旧状況について（砂防ダム等の進捗状況）
③その他（「ひろしまの土砂災害を知る」）

[公開写真の一例]



平成 26 年 8 月 20 日被害状況
[安佐北区大林町]
(提供：大林愛林会)

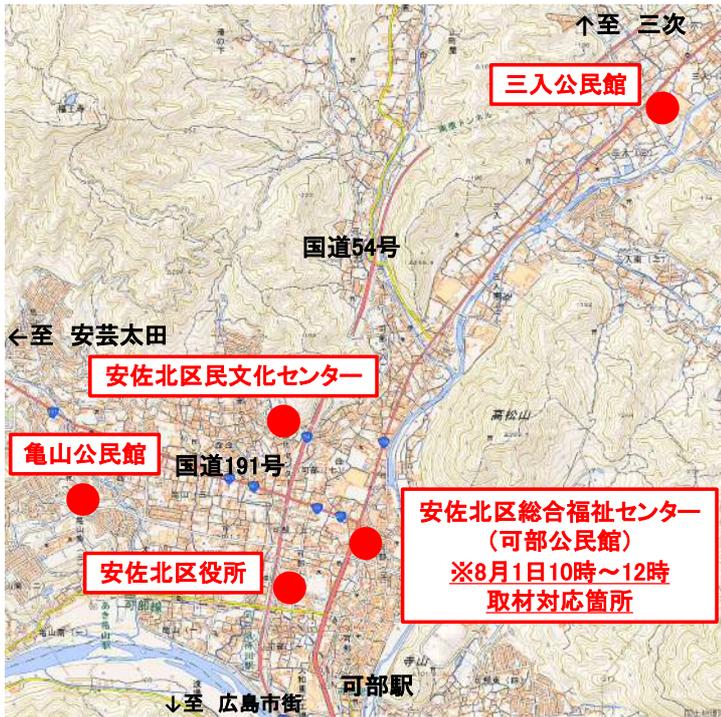


平成 26 年 8 月 20 日被害状況
[安佐北区可部東 6 丁目]
(提供：新建自治会)



動きを停めた時計
[安佐南区八木 3 丁目]
(提供：小原山町内会)

【安佐北区 会場位置図】



【安佐南区 会場位置図】



※上記の地図は、国土地理院の地理院地図（標準地図）を使用したものである。

【参考】

土砂災害 啓発・伝承プロジェクト（三本の柱）  広島県

8. 20土砂災害の教訓を踏まえ、再び同じ災害を繰り返さないためには、土砂災害に関する防災意識の醸成を図るとともに、災害の記憶を風化させず、被災の事実を後世に伝承していく必要があります。
「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」では、土砂災害への防災意識を県民へ広く啓発することに加えて、被災事実を地域に確実に伝承していく取組を積極的に実施することにより、地域防災力の向上を推進していきます。



防災意識の醸成による地域防災力の向上



「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイト

身近な土砂災害を知ろう
「啓発」

- 土砂災害防止月間における集中的な情報発信
- 様々な機会を活用した啓発活動



「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として、他部局等が実施する取組や各種イベント等と一層の連携を図り、県民への防災意識の醸成を促進することを通じて、“県民一人一人が土砂災害から身を守る知識を身につけている状態”の実現を目指します。

土砂災害について学ぼう
「防災教育」

- 学校の防災教育と共同した体験授業の展開（砂防出前講座）
- 学校安全指導者に対する説明



②学校が独自に防災教育をできる体制づくり
 県教育委員会と密接な協力連携関係を築き、“学校安全指導者への防災意識を高め、各学校が独自に防災授業を実施できる体制づくり”を目指します。

土砂災害を未来に伝えよう
「伝承」

- 地域の砂防情報アーカイブの推進
- 歴史的砂防施設の保存



③地域の「語り部」を育成

子供たちが、学校の学習発表会等の機会を通じて、親や地域の方へ、過去に身近で起きた土砂災害について発表するなど、“新たな地域の「語り部」を育成することにより、過去の災害が確実に地域住民へ伝承されていく状態”の実現を目指します。

